

主な内容

2面 ■ 振り込め詐欺に注意しましょう 4・5面 ■ 環境先進都市の実現へ 区の取り組みを紹介します 7面 ■ 大雨に備えましょう

発行 ■ 荒川区 ☎(3802)3111 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3/毎月1日・11日・21日/8万3000部発行

6月は
環境月間

環境のために私たちが出来ること

あらかわ環境サポーター



区の環境実践講座で学んだ区民が、緑のカーテンの普及活動、あらかわエコセンターや小学校での環境学習サポート、区の環境行事への協力等を行っています。

みんなでつくる循環型社会

区の資源回収は、ほぼ全域で、町会・自治会などの団体及び区民、事業者のご協力による集団回収の方式で実施しています。

一人ひとりが正しく分別することで、ごみなどが混入していない質の高い資源が多く集まっています。また、再生品を購入することは、天然資源の使用量を減らすことにつながりますので、限りある資源を循環する上で重要な取り組みです。

区民・事業者の皆さんには、これらの地球環境に優しい「資源の循環型社会の構築」に向け、引き続きご協力をお願いします。

問合せ 清掃リサイクル課 ☎内線449



区では、区民や事業者の協力を得て、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています。環境を守るために、家庭で職場で、あなたも身近なことから取り組んでみませんか。

*申し込み・問い合わせは、指定があるものの他は環境課(☎内線482)へ

緑のカーテン



室内温度の上昇を抑える自然のカーテンです。区役所やあらかわエコセンターで実施している他、学校・地域にも広がっています。

太陽光パネル



あらかわエコセンターや尾久八幡中学校などの区施設で、太陽光パネルを設置し、太陽エネルギーを活用しています。また、区民や事業所が、区と協定を結び、皆さんが設置した太陽光パネルで出来た電気を、大規模停電時に活用します。



あらみい あら坊

元祖・本家あらかわ街なか避暑地



自宅の冷房を消して、区内のふれあい館や図書館等の施設を避暑地として利用することで、家庭の電気の使用を抑制します。

高齢者の熱中症防止や、区民の憩いの場となっています。

クールビズ

省エネや節電のため、区の施設では、空調の温度設定をおおむね28度以上に設定しています。職員は上着やネクタイを外すなどの軽装で執務します。事業所等でも空調28度設定のご協力をお願いします。

実施期間 10月31日(金)まで

無理のない省エネ・節電にご協力を

今夏の東京電力管内の電力供給は、安定供給が確保出来る見通しです。無理のない節電をお願いします。

●節電のポイントはピークカット

ピークカットとは、電気使用量のピーク(頂点)を考慮して電力供給量を超えないように電気使用量を抑えることです。

電気使用が増える平日の昼間(午後1時~4時)の時間帯に、多くの家電を同時に使用しないことで、ピークカットが出来ます。

●夏の電力供給見通し

供給力 5612万キロワット
最大需要電力(猛暑の場合) 5320万キロワット(節電効果を含んだ数値)

窓



荒川区長・特別区長会会長 西川 太一郎

あなたも環境区民に

42年前にスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、日本の提案で6月5日が「世界環境デー」となり、国内では「環境の日」と定められました。

そのため、6月は環境月間として、各地で環境関連の行事が開催されます。区でも環境・清掃フェアなど、さまざまな環境事業を実施します。区民の皆さまも、イベントなどに参加して、環境について考えてみてはいかがでしょうか。

地球規模の環境問題として温暖化がありますが、その原因と言われている二酸化炭素などの温室効果ガスを削減させる国際的な約束「京都議定書」について、日本は削減目標の6パーセントに対し平均8・4パーセント削減したと発表しました。私は、9年の京都議定書を決めた気候変動枠組み条約第3回

締約国会議(COP3 京都会議)、そして15年のアメリカ・バーミンガムで開催された炭素隔離リーダーシップ・フォーラムに日本政府代表として参加した一員として、日本が約束を果たせたことに安堵すると共に、温室効果ガスの削減を継続していくことの大切さを改めて認識しました。

私も自宅で緑のカーテンを実践し、執務室でも小さな消灯などを実行しています。各自が身近なところから行動していくことが大切だと思います。

また、区内では太陽光発電など環境にやさしい設備を設けたり、節電や省エネの取り組みを実践されているご家庭や事業者が着実に増えています。

区では、先進的な活動をした方を、「環境区民大賞」として表彰し、環境活動を広く紹介しています。下町人情にあふれた、温かく優しいまち、荒川区を次の世代に引き継いでいくためには、一人ひとりが環境問題を考え取り組んでいかなければなりません。

多くの区民の皆さまが、身近なことから行動して、大きな環境を守る「環境区民」となってもらいますようお願いいたします。